

## 1. 研究テーマ

**「自発的な行動を促す授業づくり」**  
 ～自分らしく表現する力を育む指導・支援の工夫～

## 2. 設定の理由

広島県教育委員会は、平成26年12月に、グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築をめざして「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を策定し、昨年度より、本分級でも取り組みをスタートさせた。

昨年度は、最初に、『学びの変革』の取組の中で、本分級ではどのような生徒像を目指すか全体で確認した。本分級では、目指す生徒像を、6つの力 ①主体力 ②協働力 ③創造力 ④自己決定力 ⑤問題解決力 ⑥自己成長力 をつけることとして、取り組みを進めることとした。

すでに日々の授業の中で、これらの力をつける場面は設定はされているが、より意識して授業づくりに取り入れていくこととし、それをフィードバックする手段として、教員の授業評価チェックリストと、生徒の自己評価シートを導入し、前期後期末に記入し、振り返りを行った。

その中で、生徒の「自分らしく表現する力」の項目が、前期と比べて後期では下がっており、今年度は、特にこの力をつけることを重点的にすすめ、生徒が自信を持って「自分らしく表現できている！」という実感を持てる授業づくりを進めていく。

## 3. 研究の目的

- ①「自発的な行動」として、①主体力 ②協働力 ③創造力 ④自己決定力 ⑤問題解決力 ⑥自己成長力 の視点がある。この視点から、「主体的・対話的な深い学び」の研究を進める。  
 ②生徒の「自分らしく表現する力」を高める。

## 4. 具体的な研究方法

- ①授業評価チェックリスト、自己評価シートの活用  
 ②「自分らしく表現する力」を高める授業の在り方について授業実践・分析・評価

## 5. 研究計画

「自分らしく表現する力」について研修		5月
授業評価チェックリスト、自己評価シートを活用した授業実践	授業検討会	9月～12月
	校内授業研究	
	公開授業研究会	9月12日（水）
自己評価シート・授業評価チェックリスト記入・分析		各学期末
授業評価・改善		12月～3月
研究のまとめ<研究紀要>		3月末